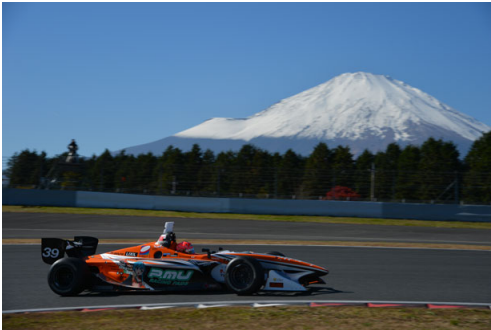


2012 Formula Nippon
Project μ /CERUMO・INGING Race Report
JAF Grand Prix FUJI SPRINT CUP 富士スピードウェイ

◆ 11月18日 (日) 決勝

#38 平手 晃平 6位 / #39 国本 雄資 4位

< 決勝 > 天候:晴れ | コース状況:ドライ



前日の雨も上がり朝から晴天となった富士スピードウェイ。雪を頂いた富士山も再びその美しい姿を見せた。3 日間にわたり繰り広げられたシーズン最後のイベントも最終日を迎えた。

前日の雨中の予選で、特別戦とはいえ自己ベストとなる 3 番グリッドを得た国本と雨の多いコンディションでのアタックとなっても素晴らしい走りを披露して 7 番グリッドを獲得した平手の Project μ /CERUMO・INGING は、朝早くからピットウォーク、F ニッポン、スーパーGT の全車両とドライバー全員が一堂に会したオープニングセレモニー、そしてグリッドウォークといったさまざま

なイベントに参加。チームスタッフたちは決勝レースに向けて着々と準備を進めていた。

午後 0 時ちょうどに 22 周で争われる F ニッポンの決勝レースのフォーメーションラップがスタート。気温は 15 度まで上がり路面温度も 22 度に達し、前日の予選とは全く違うコンディションとなった。午後 0 時 3 分、レッドシグナルがブラックアウトして決勝レースがスタート。3 番グリッドの国本はホイールをスピンさせ出遅れて 5 位へ、平手は自分のポジションを守って 7 位で 1 周を戻ってきた。2 周を終えるころにはトップ 4 台が後続を引き離し始め、国本もやや距離を置かれる展開に。国本の後ろにはチャンピオン経験を持つベテランの松田次生が好スタートを決めてポジションを上げてきており、その松田を平手が追いかける。

国本と松田の 5 位争いは、松田が距離を詰めれば国本がそれをしのいでリードを広げるといった内容の繰り返して、国本は松田に並ばれることもなく 5 位を守り、またミスを犯すこともなく中盤、終盤を走り続けていった。いっぽう平手は松田との距離がやや離れ単独 7 位の走り続けることに。やがて今年のチャンピオンである中嶋一貴が後方から追い上げてきて、平手の 1 秒後方まで迫ってきた。しかし平手は落ち着いて中嶋との距離を守りいよいよスプリントレースも終盤に突入した。

19 周目に国本は松田に 0.354 秒差まで迫られるが、残り 3 周で逆にその差を広げて 5 位でチェッカー。平手も中嶋を寄せ付けることなく 7 位でチェッカーを受けた。レース後の再車検でトップチェッカーを受けたアンドレ・ロツテラーの車両が規定違反となり失格に。2 位以下のドライバーは全員ひとつ順位を上げて最終結果となった。このため国本は 4 位、平手は 6 位という順位が確定することとなった。



初日の晴れ/ドライでのフリー走行、二日目の雨/ウェットのスーパーラップ方式の予選、そして再び晴れ/ドライでの決勝レースと、めまぐるしく変わったコンディションのなか、4位、6位という好結果を残した Project μ/CERUMO・INGING。来年より「スーパー・フォーミュラ」と名称を変えるため、今回がFニッポンの最終レースとなったわけだが、この結果は反省点はあるものの来年につながるものとなるだろう。19~20日に富士で行われる合同テストで課題をひとつずつクリアにしていき、新生スーパー・フォーミュラでは今年以上の成績を残してくれることに期待がかかる。



ドライバー／#38 平手 晃平

「スタートはいい出だしだったのですが、出遅れた国本を避けようと外側に逃げたのが失敗で少しポジションを落とす結果になってしまいました。今回はフリー走行で調子が悪かったものの予選では良さそうな雰囲気があり、決勝前の8分間のフリー走行では少しいいフィーリングがありました。欲を言えばリヤ(の車高)をもう少し落としたかったですね。自分のクルマはメカニカルグリップがいまひとつで、中盤までのセクター1と2ではそこそこいいのにセクター3になるときつくなってしまいます。リヤタイヤの磨耗も少し減り気味でしたからもう少しセッティングを煮詰めたかったです。(中嶋との7位争いは)差が縮まったり離れたりで自分の走りも悪くないのかなという印象を持ちました。僕たちにはたくさんの課題があると思うので、明日からのテストで少しでもいいものを見つけて来年につなげたいと思います」

ドライバー／#39 国本 雄資

「スタートというのは今年の課題でした。今回は何とか決めようと思っていたのですがクラッチがつながった瞬間ホイールが空回りしてしまいポジションを落とすことになりました。その後コンディションは悪くなかったのですが、クルマのバランスがいまひとつ良くなかった前の4台には逃げられてしまいました。(松田の追い上げには)僕がミスさえしなければ大丈夫だと思い、後ろを見ずに前だけを見て走りました。正直今回の結果は悔しいです。しかしまだまだレベルアップできるかなと思えるような内容でした。このオフに十分な準備をして強くなって来シーズンを迎えたいと思っています」



監督／立川 祐路

「国本はスタートで失敗したのがすべてですね。表彰台も狙える位置だったのですがしょうがないですね。追いかけられたとしても上位陣のオーバーテイクは難しいでしょう。平手は普通の内容かなと思いました。スタートグリッドもいまいちだったし、今週はあまりいいところを見せられませんでした。2台の結果は4位と6位でしたからチーム的にはポジションは悪くないと思います。特にシーズン中盤から後半にかけてはみんな頑張ってチーム一丸となって、徐々に上向いています。来年はさらに上位を目指して飛躍できるよう頑張りたいと思います。一年間応援ありがとうございました」



たいと思います。一年間応援ありがとうございました」